

県病第10445号
令和8年9月10日

福井県知事　様

住　所　福井市大手３丁目17-1

申請者

氏　名　福井県立病院開設者
福井県知事　石田　嵩人



福井県立病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の２の規定に基づき、令和７年度の業務に関して別添のとおり報告します。

項目１： 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	01-17059
歯科*	01-33037

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	福井市大手３丁目17-1
氏名	福井県知事　石田　嵩人

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	福井県立病院
管理者 役職・氏名	院長・二宮　致
郵便番号 （半角ﾊｲﾌﾝなし）	9100846
所在地１ （自動入力）	福井県福井市四ツ井
所在地２	２丁目8-1
電話番号	0776-54-5151

一般病床数	541
療養病床数	0
感染症病床数	4
精神病床数	186
結核病床数	6
合計病床数	737

④　地域医療支援病院の承認年月日

年月日	H19.6.11

項目２：　紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数　・・・（１）*	13,341
初診患者数　・・・（２）**	15,226
紹介率　・・・（１）÷（２）	87.62%
逆紹介率	
逆紹介患者数　・・・（３）***	19,590
逆紹介率　・・・（３）÷（２）	128.66%

*（１）　開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

**（２）　医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

***（３）　診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者(開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目３： 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	入退院支援センター次長

② 登録医療機関数

登録医療機関数	524
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	524

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	30
共同利用にかかる病床の病床利用率*	7.5%

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{\text{（月間日数×月末病床数）の１～12月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
☑	CT
☑	MRI
☑	PET
☐	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☐	マンモグラフィ
☑	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
上部消化管内視鏡検査装置、下部消化管内視鏡検査装置、超音波診断装置、誘導電位検査装置、SPECT装置	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第８次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等
手術室、分娩室、図書室

共同利用を行った医療機関の延べ数	3,972

項目４： 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,026
上記以外の救急患者の数	14,118

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	10
専用病床数	16

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

第三次救命救急センターとして年間を通じて24時間体制で救急専従医を配置し、各科協力のもとに救急体制をとっている。
救命救急センター（床面積727.63㎡）
（主な設備）診療室３、処置室3、人口呼吸器、除細動器、酸素吸入装置他
ICU、CCU（床面積737.71㎡）
（主な設備）バイオクリーンルーム（クラス10,000）、人口呼吸器、エアーボ、ハミルトンC6、V60 、除細動器デフィブリレータ、体外式ペースメーカ、心電計（12誘導ECG）、個人用多用途透析装置、血液ガス分析装置、呼吸循環監視装置、セントラルモニター、ベッドサイドモニター、エアーベッド、（全身熱傷ベッド）、Vigilance（連続心拍出量測定装置）、フロートラック、クリーンベンチ、アークティックサン、気管支ファイバー、コンフォートカフⅡ、ヘモスフィア、ヘモクロン、ドライスイングD2、エコー他

④　通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		11	13
	うち専従数	11	13
看護師数（准看護師含む）		40	1
	うち専従数	39	0
薬剤師数			
	うち専従数		
診療放射線技師数			
	うち専従数		
臨床検査技師数			
	うち専従数		
臨床工学技士数			
	うち専従数		
上記以外の従事者数			

項目５： 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	院長

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	地域医療支援委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	29
研修会のうち医師以外の医療従事者を対象にしたものの回数	0
研修会参加延べ人数	981
症例検討会の開催回数	13
医学・医療に関する講習会の開催回数	5
▼主な研修概要	
緩和ケア研修会（269名）、NST勉強会（322名）、アルコール依存症研修会（75名）、認定看護師による研修会（339名）、周産期症例検討会（39名）、循環器内科症例検討会（120名）、感染防止対策合同カンファレンス（122名）、医師会での出前講座（251名）など	
▼主な研修施設概要	
講堂（床面積319.91㎡）、大会議室（床面積83.89㎡）、中会議室1.2（床面積107.92㎡）いずれも放送設備、プロジェクタ、スクリーン、各医師会館など	

*：研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目６：　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	医療情報管理室長、看護部長、各部門所属長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
一患者一患者番号による一元管理 電子カルテシステムによる電子保存 スキャン画像には認証局による署名・タイムスタンプ付与
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
電子カルテ・部門システムによる電子保存

項目７：　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	医療情報管理室次長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	電子カルテ閲覧

③ 閲覧件数・概要

件数	42
▼閲覧者別件数	
医師	42
歯科医師	
地方公共団体	
その他	

項目８：　医療法施行規則第９条の19第１項第１号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職	院長
委員数	21
院外の委員数	12
総開催回数	年４回

▼概要

第１回地域医療支援委員会（令和７年5月29日）
・令和6年度業務報告
・連携を推進していくための取組み
・診療トピック「肺がん、前立腺がんの陽子線治療について」

第２回地域医療支援委員会（令和７年11月27日）
・令和7年度業務報告
・地域医療連携に関するアンケート結果
・WEB予約システム導入について

第1回開放型病床運営専門部会（書面開催）
・開放型利用実績
・開放型カンファレンス開催状況ほか

第2回開放型病床運営専門部会（令和8年3月5日）
・開放型病床の業務報告
・連携医への報酬の改正についてほか

項目９：　患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	医療メディエーター、看護師長、ベッドコマンダー、管理師長

② 患者相談について

患者相談を行う場所	１階エントランスホール「なんでも相談」
総相談件数	１６，２６３件 （内訳　窓口：8,283件、電話：7,980件）

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
公益財団法人　日本医療機能評価機構 認定期間　2025年11月21日～2030年11月20日	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
外来診療表の送付 各診療科の紹介冊子の送付 当院の医療情報と連携医を紹介する小冊子の送付など	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい

▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要

・種類・内容

急性心筋梗塞、大腿骨骨折、脳卒中、がん（次の13種類）

胃がん、胃がんⅡ、胃がんESD、胃がん術後補助化学療法TS-1、大腸がん、大腸がん術後補助化学療法（ゼローダ、TS-1、UFT／ユーゼル、ゼロックス、フォルフォックス）、肺がん（上皮内腺癌、IA期）、乳がん、肝がん

・運用方法

県内統一のがん地域連携クリニカルパスを用いて急性期治療後の継続的なファローアップを地域連携医と実施

主治医より患者へ説明し同意を得たうえで、連携先医療機関へ診療情報提供書およびがん地域連携クリニカルパスを送付。その後がん種に応じて5年から10年定期的な検査結果や診療状況について情報共有を行い、必要時には当院へ紹介いただく体制としている。

項目14： その他の特記事項